

# 逆走防止対策工の作業手順書

項 目	内 容	留 意 事 項
準 備 工	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業内容の確認</li> <li>作業人員の確認</li> <li>保護具の点検</li> <li>使用機械、資材、工具の点検</li> <li>埋設物の試掘確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>指示書の内容確認</li> <li>安全打合せ書による。</li> <li>作業別安全チェックシートの活用。</li> <li>安全装置の確認</li> <li>条数深さの確認し立ち会いを行う。</li> </ul>
標識設置 (単柱標識)	<ul style="list-style-type: none"> <li>掘削・床付け</li> <li>基礎設置</li> <li>標識設置</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>作業車の設置は、平坦な場所に必ず敷き板を使用しクレーンのアウトリガーを成るべく一杯まで張り出す。</li> <li>埋設物の防護を確実にを行う</li> <li>有資格者による、機械作業を行う。</li> <li>積載荷重の確認をする。</li> </ul>
標識設置 (Gr共架)	<ul style="list-style-type: none"> <li>共架金具を取り付ける</li> <li>標識を設置する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>支柱つり込み時は、吊り荷の下に入らない。</li> <li>作業に合った保護具を使用する。</li> </ul>
矢印板設置 (貼付け・可倒式)	<ul style="list-style-type: none"> <li>所定の位置に矢印板(貼付け)を設置する。</li> <li>設置箇所を削孔しアンカーホルトにて(可倒式)取り付ける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置面の清掃を十分に行う</li> <li>削孔深・設置箇所の躯体の状況確認を行う</li> </ul>
片付け	<ul style="list-style-type: none"> <li>箒・スコップ等で清掃を行う</li> <li>道具・材料の積み込みを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>道具・材料の置忘れに注意</li> <li>積み荷の飛散防止</li> </ul>

作業編成(標準)			機材		資材		安全器具・保護具	
	名						ヘルメット	防塵マスク
	名						反射(自発光)チョッキ	安全帯
	名						警笛	
							保護メガネ	

※現場で作業手順を変更する場合は作業を中止し、作業責任者からメンテ名古屋担当者に報告・相談する。

### ■注意事項(共通の指導事項)

- 1.作業に合った保護具を使用する。
- 2.有資格者による、機械作業を行う。
- 3.規制内の車輛誘導は、必ず行う。
- 4.吊り荷の下に入らない。
- 5.手持ち式振動工具については取扱を十分理解し、使用する。
- 6.一人作業の禁止